

# ちかひ

2021

正月号

VOL.160

浄土宗西山深草派宗務所  
総本山 誓願寺  
謹賀新年



◆ 総本山誓願寺 御本尊 木造阿弥陀如来 ◆

## ◆ 目次 ◆

- 新春を迎えて
- 開宗八百五十年に向けて⑧
- 賢問子行状記⑳
- お釈迦さまの十大弟子㉒
- インド **ド** **タ** **バ** **タ** 夫婦道中記 ⑤4
- 総本山誓願寺だより
- 何でも“お寺探偵団” Vol.58  
巖松山 柳田院 稱名寺



**新春を迎えて**

浄土宗西山深草派管長  
総本山誓願寺 法主

**倉内 賢道**

**謹賀新年**

新年あけましておめでとうございます。昨年は年明けから新型コロナウイルス感染症拡大で、社会情勢が混沌。四月には緊急事態宣言が政府から発令され、不要不急の外出、移動の自粛により、京都の街も人出が少なくなり、静かになりました。

当本山も、御忌大会をはじめ、策伝忌、西山忌など全ての法要・行事が縮小となりました。

皆さまの大切な命を守るためには、それぞれ一人ひとりの自覚が必要であります。新型コロナウイルスを乗り越えて頂き、一日も早く平穏に戻る事を念じております。

令和六年（2024）は、元祖法然上人法爾大師

により浄土宗が開かれて、八百五十年の節目に当たり、大法要をはじめ、様々な企画が予定されています。

元祖法然上人の、御教えは、『ただ一向に念仏すべし』の一句に極まります。その源は、高祖善導大師の金言、『上より来定散両門の益を説くといへども、佛の本願に望むるに、意、衆生をして一向にもつばら弥陀佛の、名を称せしむるにあり』であります。ですから、皆さま、この御示しを心に刻み、阿弥陀さまの誠をいただいて、朝夕念仏の声と共に暮らし、力及ぶところ利他の正行にお励みください。

令和三年 正月

総本山誓願寺 第百参世

徳空 賢道 謹識

お釈迦さまのご生涯  
外伝

お釈迦さまの十大弟子 20

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

天眼第一の阿那律尊者その4

またある時のことであります。阿那律尊者の三衣がボロボロになり、とても直せる状態ではありませんでした。三衣とは、上衣、中衣、下衣と言いまして、お坊さんが身につける三枚の布です。眼の見えない阿那律尊者は困り果てていました。その様子を見た阿難尊者は、阿那律尊者の三衣を縫おうと考え、他の弟子達に協力を求め、声を掛けました。それを知ったお釈迦さまは阿難尊者に言いました。

「阿難尊者よ、阿那律尊者の為に、弟子達に声を掛けているそうだが、何故私には三衣を縫うように頼まないのか？」  
「世尊よ、よろしいのでしょうか？」  
「弟子の困っていることは、師匠である私の問題だ。是非とも私にも手伝わせて欲しい。」

「ありがとうございます。阿那律尊者はきつと喜ばれるでしょう」

そして、お釈迦さまは自ら針と糸を持たれ、阿那律尊者の為に三衣を縫い始められました。それを聞きつけた弟子達が、

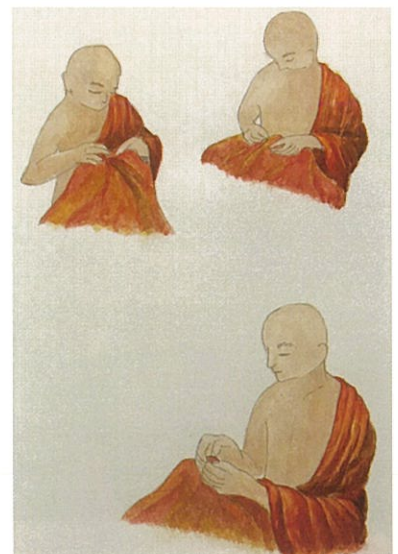
「私も手伝おう！」

「是非私にも三衣を縫わせて下さい！」

「阿那律尊者の為に！」

と大勢の弟子達が布を持ち寄り、三衣を縫い始めました。

お釈迦さまと多くの弟子達の協力により、終わってみると三衣が三組出来上がっていました。阿難尊者は、出来上がった三組の三衣を持ち、阿那律尊者を訪ねました。



「阿那律尊者、世尊を始め多くの弟子達のお陰で、三組の三衣が出来上がりました。これをお納め下さい。」

「阿難尊者よ、これはありがたい。しかし、本当に戴いてよろしいのですか？」

「これは、阿那律尊者の為に三衣です。皆の思いが沢山詰まっております。どうぞお納め下さい。」

「私の為に。皆さんの思いが詰まったこれらの三衣、ありがたく頂戴いたします。三組もあれば生涯心配することもないでしょう。」

その後、阿那律尊者は教団の主要な弟子として活躍し、お釈迦さまが涅槃に入られる時も阿難尊者と共に側を離れず、涅槃を見届けられました。お釈迦さまが自ら針と糸を持ち、縫われた三衣を身につけて。

(終わり)



東龍寺住職 岩瀬 賢良

# インドタバタ 夫婦道中記 54

やっと下界へ帰れる！

ナイニタールから麓のカート  
 ゴードム駅に降りるバスは、午  
 後三時過ぎだったので、充分な  
 時間はあったのだが、やり残し  
 ている大切な用が済んでいな  
 かった。それは帰国の旅客機の  
 リコンファーム、「キャンセル  
 しません。」という搭乗の再確  
 認の手続きだった。航空会社によ  
 っては帰国便の搭乗の予約を  
 七十二時間前までに再確認しな  
 ければならないのだ。僕たちはマ  
 レーシア航空の往復チケットを  
 買いその旅客機でインドに入  
 り、同じ会社の旅客機で帰国す  
 るのだが、マレーシア航空がど  
 んな規則なのかは把握していな  
 かったので、とにかく手続きだ  
 けはしておこうと、チケットに  
 書いてある電話番号で何度か  
 コールしても出なかったのであ  
 る。

他の手段を考え、僕は今回の  
 旅で日本語を使って最も容易に

話ができ、しかも社長やスタッ  
 フのパルシユ君とも親しくなっ  
 た、カジュラホーのホテル・マー  
 ブルパレスを思いついた。早速  
 マーブルパレスに電話をし、幸  
 い日本語の出来るスタッフが出  
 たので用件を話しリコンファ  
 ムをしてくれるよう、僕たちの  
 チケットの内容を伝え、丁寧に  
 お願いをして、また後で電話す  
 る旨を伝えた。

取り敢えずホテルのチェック  
 アウトを済ませ、僕たちのバッ  
 ゲージだけロビーの奥の隅に置  
 かせてもらい、湖の奥に並ぶ  
 土産物屋に向かった。高級そう  
 な店からまあ安そうな土産物屋  
 まで意外に多くの店が並んでい  
 た。僕たちは品数の多い服屋に  
 入り、時間をかけて利子のパン  
 ジャビドドレスと、大きくて洒落  
 た絵柄の布を一枚買った。パン  
 ジャビドドレスは二着で六五〇  
 ルピー（約一六〇〇円）、布は  
 三〇〇ルピー（七五〇円）だっ  
 た。

湖畔を歩いていると、ボート

に乗らないかと客引きが寄って  
 きて、せっかく湖畔で泊まった  
 のだからと、三〇分で五〇ル  
 ピーのところを四〇ルピー（約  
 一〇〇円）に値切り乗せても  
 らった。湖面を吹く風は少しヒ  
 ンヤリしていて、厚着をしてお  
 いて正解だった。湖水は生活排  
 水が混ざるためだろう、お世辞  
 にもきれいとは言えない。季節  
 外れの避暑地はこんなものかと  
 思いつつボートを降り、もう一  
 度カジュラホーに電話を入れた  
 ら、リコンファームは大丈夫と  
 の返事だったので、僕たちは安  
 心してバスを待つことができ  
 た。



ナイニタールの湖にて

# 開宗八百五十年に向けて 8

布教師会

新美

和彦

## 心を清らかにお念仏

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

寒空の中、外から帰って、暖かなお部屋の空気に触れ、ホッと一息…。さらに、その日の疲れを癒そうと、お風呂に入ったらならば、「あゝ極楽！極楽！」と心も体も思えるのではないのでしょうか。

「声は思想を超えている」と言われています。

声に出せばいつそう、身体の汚れもとれて悩みや苦痛もなくなり、まさに極楽へ参らせていただけたような思いになるからです。

源頼朝の妻である北条政子は、

「お念仏をお称えするときに、なにか準備など必要になるのでしょうか？また、その作法というものがあるのでしょうか？」と法然上人に問われました。

その、法然上人からのお返事に、

「ただ南無阿弥陀仏の名号を称えるだけの中にあらゆる諸行がおさまっています。心には

**わが名を呼ぶものは必ず救います**

というみ仏のよび声をたのみ、ただ名号を称えるだけなのです。そもそもお念仏は、歩いていても止まっても、座つていても横になっても、いついかなる時・処・状況にあっても、そういったことにはかかわりなく、また見かけは身

体や口が汚れていようともはばかりのない行なので、容易な仏道であるのです。ただ、心を清らかにして称えることがもつとも大切なのです。」

とお返事をされました。

しかし、私たちの心の垢は一度祈っただけでは、なかなか落ちてゆくものではありません。

私たちの心の垢を落とし、清らかに、綺麗にならせていただくには、おおらかに阿弥陀さまを信じて、お念仏をお称え続けてゆくしかないのです。

心の掃除と思ひ、お念仏をお称えすれば、なかなかその身が引き締まる思いがします。おのずと心も清らかに掃除され、一步一步、仏への道を歩むのです。これがお念仏の道です。

心清らかな日々のために、しっかりとお念仏をお称えして過ごしたいものです。

## 賢問子行状記

29

宝蔵寺住職 小島英裕

## 第十七話

## ◆「証入坊、正念往生」(後編)

松屋は誓願寺に参拝して、山門が開くの待ち出家の身となりました。その名を「証入」と改め、仏さまに仕え、念仏三昧の身となりました。夜が明け、父は枕元にあつた手紙を眺め驚き、

「私を見捨てる親不孝者」

と怒りが込み上げましたが、やはり親子の情。涙に暮れて過ぎてしまいました。出家の姿を一目見ようと誓願寺を訪ねました。父は七十歳になるまで、仏さまに向かい拜んだことがありません。初めて誓願寺に参拝して本堂に上がった父は、

「先日、出家した者はどこにおりますか?」と尋ねました。証入は聞き付け走り出て、「ようこそ訪ねてくださいました!」

と対面しましたが、あとは言葉になりません。ただただ顔を見合わせ涙ぐみました。証入は、

「断りもせず出家することは親不孝です。しかし、元々お父さんには仏道を信じる心がないので断ることもないかと思いましたが。ただ私が出家の身となれば、お心も落ち着き、仏道に入ってくれるのではないかと、誓願寺のご本尊さまに祈っていたのです。さあ阿弥陀さまを拜んでください」

と話しました。しかし、父はまだ拜んでいない様子です。証入は父の手を取りご本尊さまを拜ませようとしたが、大仏であつても拜むことはありません。

「どこに如来さまはおられるのじゃ?」と父がうろたえ尋ねる姿を見て、

「人々は朝夕参拝して信心を持って頭を下げられるのに、父はどうして仏の慈悲に

外れてしまうのか。今まで仏を拜むことなく強気に暮らしてきたこの年月。今の仏罰は悲しい」

と、証入親子は共に懺悔して拜みましたが、見えるのは灯明とお香とお花ばかりです。阿弥陀さまの尊いお姿は目に入りません。証入は、

「今日より一週間を限りとして参拝してください。そうしていただかないと地獄に落ちるかもしれません。地獄の苦難は大変恐ろしいものです。私も一緒に精一杯の誠を尽くします。お願い致します!」

と証入が説得すれば、さすがに信心の無い父も折れ、

「そうまで言うなら一週間参拝してやろう」

と、日々誓願寺に足を運びました。六日目の朝。拜み続けた親子は喜び、

「今日からはお念仏が肝要です。仏の道に入ってください」

と言う勧めの言葉を父も納得し、大念仏の行者となりました。ひとえに阿弥陀さまのお導きのお力です。

悪人を善人へと導いた証入の孝行は、この世のみならず来世までの孝行を尽くしました。

# 総本山誓願寺だより

## 節分会

令和三年二月三日(水)

## 大般若転読会

無病息災・心願成就・芸道上達等、皆さまのお願い事を仏さまに祈願致します。

●午前十時～十二時  
●午後二時～四時



## 扇塚法要

古くなった扇の供養を致します。

## 涅槃会

令和三年二月十五日(月)

お釈迦さまの入滅された二月十五日に合わせ、十四時～法要をお勤め致します。本堂では鎌倉時代の『涅槃図』、伊藤若冲『果蔬涅槃図』(超高精細複製画)の二点を展示予定です。ご自由に参拝頂けますので是非お参り下さい。



伊藤若冲著「果蔬涅槃図」複製画

### おもな行事予定

一月

一日(元旦)

修正会

十五日(金)

六阿弥陀功德日

二月

三日(水)

節分会

八日(月)

六阿弥陀功德日

十五日(月)

涅槃会

三月

十四日(日)

善導忌

六阿弥陀功德日

十七日(水)～二十三日(火)

春彼岸

二十五日(木)～四月四日(日)

法脈相承

## クイズコーナー

### 【問題】

5頁お釈迦さまの十大弟子より、お釈迦さまと弟子達が阿那律尊者の為に縫った三枚の布を何と言うでしょう？漢字2文字でお答えください。

○○○

官製はがきに、答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いてご応募下さい。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、はがきにてご連絡差し上げます。名前の掲載が困る方は、その時にご返事下さい。

今回は倉内貌下御染筆の色紙を1名さま、稱名寺さまより涅槃図絵解きDVDを10名さま、本山謹製線香を5名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒四四四-三五〇五

愛知県岡崎市本宿町東木竹十六番地

欣浄寺内 ちかい編集係

【締切】一月三十一日

(消印有効)

答え ○○○○  
郵便番号  
住所  
氏名  
電話番号  
菩提寺(だんな寺)  
感想・質問等

ちかい 第160号

発行日 令和二年十二月五日  
発行所 浄土宗西山深草派  
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地  
電話(〇七五) 二二二一〇九五八  
FAX(〇七五) 二二二二〇一九

E-mail info@fukakusa.or.jp  
URL http://www.fukakusa.or.jp

何でも

# お寺探偵団

しょうみょうじ 稱名寺

Vol.58



今回は、愛知県岡崎市の「**巖松山柳田院 稱名寺**」を訪ねました。

**profile**

**足立昇龍師 (稱名寺第28世)** 49歳  
 稱名寺先住(現名誉住職)の二男。神戸芸術工科大学芸術工学部卒業後、地元建築工務店に現場監督を9年務めた後、平成16年に有限会社三世を設立、寺院を会場として行なう葬祭業「柳田院葬祭」を運営。宗派内では布教講習所教授、宗学院准教授として研究、指導をしている。平成25年に人権擁護委員、平成28年に保護司を委嘱される。令和元年秋彼岸中日をもって住職となる。

**Q1** お寺の歴史を教えてください。

もと天台宗で十一面観音が本尊でした。永禄11年(1568)、法蔵寺7世教翁洞慧上人によって浄土開基されました。第3世は、家康公が関東に行かれた時、

三河の町人商人と共に随行され、寺は約60年間荒廃しました。正保3年(1646)、第4世倍山無壁上人を中興とし、寛文2年(1662)、第6世是空回隆上人によって、現在の地に移りました。

第26世(祖父瑩龍上人)代、昭和29年に村立藤川保育園が出来、境内地にありましたが、平成元年に移転しました。

第27世(現名誉住職香龍上人)代、平成23年法然上人800回大遠忌記念として、檀信徒のご寄付あつて私の設計した開山位牌堂を建立し、御身丈5尺の阿弥陀如来を安置し、お向かいにお釈迦さまを安置してあります。二尊に護られたお堂としてご法事や葬儀を行えます。

**Q2** お寺の宝物は何ですか?

ご本尊の『阿弥陀如来』は、もともと本寺法蔵寺の本尊であつ

たと口伝されており、平成26年に仏師運慶か湛慶(慶派)の作と認められ県文化財に指定されました。

『十一面観音菩薩』は平安期作で、普段秘仏とし大晦日から10日(初観音会)までの11日間ご開帳しています。また、『地藏菩薩』は、台座に洛陽誓願寺純格超然上人より元禄8年(1695)に寄附されたとあります。『涅槃図』は縦3.1mあり2月の涅槃会には、掲げて絵解きしています。

**Q3** お坊さんとしての心がけを教えてください。

私ども僧侶は、故人の供養の為に役割があると誤解されています。仏教は、今生きている皆さまが「安心して日暮しが出来る」為の教えです。多くの方、特に若い方が集まれるお寺になるように助力しています。

**Q4** 「ちわい」の読者に何か頂けませんか?

私共『涅槃図』の絵解きをしましたDVDを10名の方に差し上げます。



▲平成26年愛知県指定文化財『阿弥陀如来坐像』



◀十一面観音菩薩(平安期作)



◀地藏菩薩(誓願寺寄贈)

**【交通】**  
 名鉄「藤川」駅より東へ徒歩10分

**【主な行事】**

修正会	1月1日
観音会	毎月10日
涅槃会	2月15日に近い日曜日
彼岸会	3月彼岸の日曜日
花祭り	4月第1日曜日
御三祖忌	5月第3日曜日
施餓鬼法要	7月最終日曜日
地藏まつり	8月24日
総廻向	12月第3日曜日
除夜の鐘	大晦日

**【お問い合わせ】**  
 稱名寺  
 〒444-3523 愛知県岡崎市藤川町字中町南15  
 電話 0564-48-2089 FAX 0564-48-8201  
 shomyoji@m3.catvmics.ne.jp